

## 不適正輸出の現状

調査日 : 2006年4月13日

調査場所 : 中華人民共和国 経済特区内

### < 輸入業者のコメント >

- (1) 同社の持つ輸入ライセンスは特別なものであり、通常の会社では輸入し得ない、例えば廃PETボトルのベールでも問題なく輸入可能。
- (2) 一般的には廃PETボトルをベール状で持ち込めないことは認識している。
- (3) 日本から輸出している業者の名前は言えない。その業者からは日本から持ってきたベールを他人には見せるなど言われている。
- (4) 同社が日本から輸入しているものはPETボトル以外にも、プレスしたPEフィルム(現在中国向けには一時的に輸出禁止になっている)・OA機器(半導体部分付き)など違法性の高いものが多いが、日本から輸出されてしまえば中国側で輸入できないことは有り得ないと断言。
- (5) 廃PETボトル関連品に関しては、「(購入価格の高騰で)最近利益が全然出ない為、需要は旺盛だが徐々に消極的になっている」とのこと。
- (6) ラベル屑などは買い手不在である為「引き取りたくない」が、プレゼントと称して勝手に押しつけられる(残渣処理コスト低減の為と考えられる)。

### 写真(1) ベール置き場(遠景)

最初はベールを見せたくないそぶりであったが、粘った甲斐あり見せてもらえることに。山のように積んだフレコンの奥に、右のようにベールが保管されていた。



## 写真(2) ベール写真

目視で確認できる通り、日本の清涼飲料水・お茶のボトルである。状態は余り良くない。



## 写真(3) その他のベール写真



#### 写真(4) 現地のフレーク洗浄ライン

スチーム式の洗浄ライン。当然のことながら水処理の設備などはなく、排水は垂れ流し状態。見学時は稼働していなかった。



写真のとおり、今回確認されたベールは間違いなく日本から出されたものである。その出荷ルートについては、現在調査中。

なお、本ベールは本年3月中国に持ち込まれたものにて、その時点で撮影された写真を以下に添付する。

調査日 : 2006年3月15日

調査場所 : 中華人民共和国 経済特区付近

#### 写真(5)



写真(6)



以上